

令和7年度公共交通対策事業 掛川市AIオンデマンド交通実証実験業務公募型プロポーザル 質問への回答

No.	記載箇所	質問概要	質問	回答
1	実施要領 9	審査方法について	プレゼンテーションにおいて企画提案書の説明と合わせてシステムのデモンストレーションを実施してもよいか。	デモンストレーションを行っていただいても構いませんが、プレゼンテーションの時間内をお願いします。
2	仕様書 3(1)③i)	デマンド配車システム要件について	要件ア～スについては全て満たす必要があるという認識でよいか。	全て満たす必要があります。
3	仕様書 3(1)③i)ウ	利用者からの予約方法の条件について	「利用者からの予約（電話、アプリ、Web、LINE）を受け付け」と記載があるが、括弧の中に記載の4つの予約媒体は全て必須条件か、又は4つのうちいずれかに対応することが条件か。	全て必須条件です。
4	仕様書 3(1)③i)カ	デマンド配車システム要件について	予約受付方法の「即時予約」は、今から乗りたいという予約リクエストに対しても即時受付・即時配車が可能という認識でよいか。	ご認識のとおりです。
5	仕様書 3(1)③i)キ	配車システムにおけるAIの学習機能について	「利用者に案内した配車予想時刻・実際の待ち時間・到着予想時刻との実績のズレを自動でAIが学習し、修正するシステム」という記載について、例えばドライバーが乗車／降車完了ボタンを適切なタイミングで押すことを失念し時間差が生じ、人手により修正を加えることでより実態に合った予想と実績のズレ分析が可能な環境を整える必要があるケースが多々散見されている。その場合は、予約時はAIが算出するものの予想と実績とのズレ分析は人手で行うことも要件として認められるのか。	仕様書に記載している要件は、通常の利用・配車をした場合を想定して定めたものです。 左記のとおり何らかのトラブルが発生した場合は、人手によりその損失をカバーすることは問題ありません。
6	仕様書 3(1)③i)キ	デマンド配車システム要件について	「自動でAIが学習し、修正するシステム」について、配車システムが、運行開始後の実際の運行実績に基づき、配車予想時間や、配車から降車までの時間を学習し、日々予測時間の算出を自動で修正し、実態と精緻に近づける機能を具備することとの認識でよいか。	ご認識のとおりです。

令和7年度公共交通対策事業 掛川市A I オンデマンド交通実証実験業務公募型プロポーザル 質問への回答

No.	記載箇所	質問概要	質問	回答
7	仕様書 3 (1) ③ i) コ	デマンド配車システム要件について	距離別の運賃計算について、同一乗降拠点間でも予約毎のルートに応じて運賃が変動するのを回避する為、乗降拠点間の直線距離での運賃算出ができる仕様という認識でよいか。	ご認識のとおりです。 運賃は乗降ポイント間の直線距離をもとに算出する想定です。
8	仕様書 3 (1) ③ i) サ	交通系ICカードについて	交通系ICカードとの連携できる機能について、車両に設置した端末での決済でもよいか。(降車時)	問題ありません。
9	仕様書 3 (1) ③ ii) キ	利用者アプリの言語対応について	「英語表記、ポルトガル語表記は必須とする」と記載があるが、その具体的な対応方法について  ①対応箇所としては、大きく「A. 利用者向けに発信するメッセージ(例: 予約/キャンセル完了時など)」「B. アプリ上の基本操作ボタン(例: 次の画面に進む/戻るなど)」「C. 各乗降場所の地点名(例: 地名・施設名など)」の3つが考えられるが、どの範囲までの対応を想定しているか。  ②特にポルトガル語対応について、地名等は日本語読みのローマ字対応(例えば英語の場合: 品川→Shinagawa)を想定しているが、他に条件等はあるか。	①英語・ポルトガル語を使用する方が問題なく利用できる仕様であることが条件となります。  ②他に条件等はありません。ローマ字対応で問題ありません。

令和7年度公共交通対策事業 掛川市A I オンデマンド交通実証実験業務公募型プロポーザル 質問への回答

No.	記載箇所	質問概要	質問	回答
10	仕様書 3 (2) ① 3 (3) ⑤⑥	運行車両の手配について	<p>運行開始までに受注者側で運行車両1台を手配すると記載がある一方で、車両運行業務委託事業者は既に決まっているようだが、1台目（メイン車両）と2台目それぞれについて、以下どちらが条件となるのか。</p> <p>①車両運行業務委託事業者からの車両リースは不可能であり、別の事業者から借りる必要がある。</p> <p>②車両運行業務委託事業者からの車両リースは可能であり、リース代金・運行委託料は受注者が車両運行業務委託事業者に支払う。</p>	<p>i) 1台目（メイン車両） 掛川バスサービス株式会社については、今回の運行車両は所有していないため、受注者が車両を用意（自社車両もしくは他社からのリース車両）し、掛川バスサービス株式会社へ無償貸出してください。</p> <p>ii) 2台目（ピーク時の補助車両） 掛川タクシー株式会社については、今回の運行車両は自社で所有している6人乗りミニバンを使用するため、受注者が掛川タクシー株式会社から貸与してください。 リース代金・運行委託料は、受注者が掛川タクシー株式会社へお支払いください。</p>
11	仕様書 3 (2) ① v) ア	車両の仕様について	<p>車両本体の仕様 a特定大型車 b乗車定員10人（運転手含む）は運行開始のどれくらい前までに手配が完了している必要があるか。</p> <p>また、運行開始日までに間に合わない場合は、他の仕様の車両で代用することは可能か。</p>	<p>7月初旬には静岡運輸支局への運行に係る申請手続きを開始する必要がありますので、それまでにご用意ください。</p> <p>他の仕様の車両で代用することはできません。</p>
12	仕様書 3 (2) ① v) イ	車両内の仕様に関して	<p>架装及び付属品の f 及び g についての設置位置等の指定はあるか。</p>	<p>指定はありませんが、運転手が操作しやすい場所に設置してください。</p>
13	仕様書 3 (2) ② ii) イ	乗降ポイントプレートについて	<p>乗降ポイントであることがわかるプレートの想定制作数は何点か。</p>	<p>エリア内の主要な施設約100箇所を想定しています。</p> <p>※今後、地元自治会や車両運行委託事業者との協議により増減する可能性があります。</p>
14	仕様書 3 (2) ② iii) イ	パンフレットの制作及び印刷について	<p>想定しているパンフレットのページ数やサイズはどうか。</p>	<p>A3サイズ両面カラー印刷2つ折りを想定しています。</p>
15	仕様書 3 (3) ③	運行区域について	<p>想定運行区域の大まかな面積を教えてください。</p>	<p>約25km<sup>2</sup>です。</p>

令和7年度公共交通対策事業 掛川市A I オンデマンド交通実証実験業務公募型プロポーザル 質問への回答

No.	記載箇所	質問概要	質問	回答
16	仕様書 3 (3) ⑤ ii)	運行事業者が所有する車両の使用料について	「車両運行業務委託事業者が所有する6人乗り（運転手を含む）ミニバン（車椅子1台使用可）を実証実験業務委託事業者が貸与する」とは、実証実験業務委託事業者と車両運行業務委託事業者との間で締結する運行委託契約において、使用料を含めた契約とすることによいか。	問題ありません。運行委託契約の内容は受託者と車両運行業務委託事業者との間でご協議ください。